

に感じられます。西高に赴任した平成元年は、それまでの学校群制度が導入された初年度でした。県立高校の受験機会を二度与えるという趣旨であると同時に、群制度によって平均化し力が衰えたと考えられた伝統校の復活を目指すものでした。一宮高校と群を組み、飛躍しつつあった西高にとっては危急存亡のときでした。西高が進学校として生き残り、活性化するために何をしたらよいか、連日真剣な討議を重ねましたが、あのころの熱気が今では夢のように感じられます。その後も、学校五日制の実施やゆとり教育への転換など、何度も大波が西高を襲いましたが、そのつど大胆かつ柔軟に対応しつつ、進学校としての伝統を絶やさないという意志を失うことはありませんでした。その思いを最もよく象徴している制度が、四十七分七限授業です。生徒と教員および保護者、この三者の意思が一つになった独創的な取り組みであり、今ではすっかり根付いて立派な実を結ぶものになりました。この時期に勤務できたことを感謝し、誇りにしています。今は私立高校に勤務し、三年生の担任をしています。

私の一宮西高生活32年間

中村 恵里

高校生時代を振り返ってみると浮かんでくるのは、勉強と部活の思い出である。私の西高生活はこの2つで成り立っていた。勉強については言うまでもなくきつかったが、勉強は嫌いではなかったのだ、それほど苦痛ではなかった。一生懸命に教えてくださる先生方の熱意と、周りの仲間の励ましや

競争心が好きだった。部活は中学から続いていたソフトテニス部であった。決して上手ではなかったが、負けず嫌いなので、絶対に途中でやめない！と心に決めてがんばった。この、勉強や部活で鍛えられた精神力が、今の自分を支えてくれている。

大学進学後に、私は教師になろうと決めた。西高で世話になった先生方へお礼の言葉からである。採用試験に通らず、非常勤講師として名古屋の高校に勤めていた時、西高で勤務をしないか、とのお誘いをいただき、2年間、常勤講師として西高に勤めることとなった。母校で、自分があこがれた先生方とともに、自分の後輩を教えることができるなんて、こんな幸せなことはない。立場は違いますが、再び西高に通うことができるのはとてもうれしかった。

とはいえ、進学へのモチベーションが高く、学力も決して低くない生徒を相手に、教えることができるだろうか、と不安であった。最初の年は1年生の副担任となり、次の年はそのまま2年生に持ち上がった。2年生になると扱う教材はレベルが高くなり、教材研究にかなりの時間を費やした。周りはベテランの先生方ばかりで、ついていくのに必死だった。自分なりに努力はしたつもりだが、もつと指導方法の研究をする必要があったと今となっては思う。こんな経験のない私の指導にも、文句も言わず従ってくれた生徒には感謝している。年齢が近いので、生徒に近い立場で話すことができ、楽しかった。

2年間の契約期間が終わりに近づくと、もつと西高にいたいと思う気持ちが強くなり、寂しくなっていた。そんな時、ある生徒が言った。「先生の成長のために、ここに居続けるのは良くない

よ。西高生はいい子ばかりだもん。」この言葉には驚き、勇気づけられた。西高を去ってもがんばろうと思えた。生徒は、時に大人よりも大人な考えを持っている。生徒から学ぶこと、励まされることはたくさんある。

高校生として、そして先生として過ごした、3年間+2年間の思い出は、私の財産である。この先修行を積んで何年か経った後、また西高に戻ってきたい、と願っている。

修学旅行俳句
秀逸作品

「木の枝に首をかきしげる夏みかん」
「ヒロシマの風にふかれて夏衣」
「思い出と土産かさばる帰り道」

今年度の修学旅行（5月19日～21日 広島・山口方面）において、二年生全員が俳句を三句ずつ作るという課題が与えられました。冒頭の三句はその中から選ばれた優秀作品です。他にも、生徒の秘めた感性が輝いた、多くの優秀作品が寄せられました。広島で感じた平和への思い、宮島の鳥居、鹿、海、夏の風。友達と遅くまで語り合ったこと、いつもと違



修学旅行 宮島

西高&INTERNET

1 西高OBのホームページ

9回生の鷲津秀樹さん主宰。西高の学校行事、部活動などの話題や、OB同士が情報交換できる掲示板など盛りだくさんで楽しい内容です。ぜひ、ご覧ください。
<http://www.ops.dti.ne.jp/~iwh/>

2 西高メーリングリスト

28回生の牧さん主宰。西高の話題を中心に、さまざまな情報を交換しています。申し込みは、牧さんまで。

E-mail nishi-koh-owner@yahoogroups.jp

3 同窓会事務局へのお便り・出欠のご返事も

E-mailでどうぞ。

E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp

西高ホームページ

<http://www.ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp/>

9回生（昭和50年卒業）
同窓会の案内

日時 9月5日（日）11時30分～14時

場所 名古屋マリオットアソシアホテル
16階「タワースポールルーム」

代表 小笠原 優

う景色の中で朝練したこと、萩の町並み、暑い中散策したこと、ちよっと塩辛かった萩温泉。どれも生徒の心の中に刻まれた景色ばかりでした。同窓生の方々も、在校時の修学旅行を懐かしく思い出される方も多いことでしょう。

納入及び協力金のお礼

昨年度も例年通り同窓会費（年間二千円）の納入をお願いしましたところ、二百八十八名の方から会費をいただくことが出来ました。同時にお願いしました協力金とあわせて、七十三万九千四百二十円をいただくことが出来ました。ご協力ありがとうございました。今年度も、年会費二千円とは別に、一口千円を協力金としてお願いしたいと存じます。同封の振込用紙をご利用の上、郵便局からお振込ください。よろしくお願いたします。